

FINAL DRIVE

written by HADEYA

1

入電が十四時、クライアントの家に着いたのが十六分後だった。
築地三丁目で電話を受け、銀座一丁目に着くまでの間、二十七年の人生について考えていた。
実は知人から他社への転職を勧められている。彼が言うには俺の腕なら月六十は固いそうだ。
それだけ稼げば、安泰だろう。若い内に稼いで悠々自適な老後の生活を送る。
それもまた人生かも知れない。
晴海通りを走行しながら俺はそんな事を考えていた。

十四時五十二分。荷物は無事、先方へ届けた。俺に行けない場所などない。
俺の職業はディスペッチャー……つまりバイク便ライダーだ。
その気になれば一時間でインドネシアまで行ってやる。

メットを脱ぎ、路肩で一服しながら事務所へ集荷連絡を入れる。
次の案件は調布だった。離れた場所にあるが、バイクならどうって事ない。
アクセルを吹かし、新宿通りを北上した。
新宿を超え、中野を超え、やがて調布へ。五月の青空の下、法定速度で目的地へ向かう。
途中でコンビニへ寄り、鮭握りを二つ購入した。シュリンクを破き、海苔を引いてシュリンクを捨てる。
塩辛い鮭の味を堪能してる時、事件は起きた。目の前をゴム製の青いボールが転がったのだ。
ボールは勢い良く一般道へ転がって行く。ボールと道路——胸騒ぎは的中した。
小学生がボールを求め、追い越し車線へ飛び込んだのだ。
瞬時の出来事だった。小学生はトラックに跳ねられ、ガードレールに打たれた。
遅れて急ブレーキを踏むキィイと言うスキッド音。
即死に違いない。目の前の道路には真っ赤な血痕のラインが引かれ、
その上を大腸と思われるグロテスクな内臓が数メートルも続いている。
思わず、手にしている御握りを落とした。目の前の小学生の顔は人間とは思えないほど苦痛に歪み、五月の空を
仰ぎ見ている……。

*

調布を走った。法定速度の三十キロオーバーで。血液が足りない——救急隊員は言った。
「さ、最低でもクロスマッチが二十単位は必要だ！」
俺は仕事を放棄した。最寄りの病院——金田総合病院へA型の血液を取りに向かっている。
俺の手に小学生の命が掛かっている。人命救助。これが今日のミッション……社会人として果たすべき責務だ。
アクセルを吹かす、少年の為。アクセルを吹かす、君を笑顔に変える為。

救って見せる。これはプロライダーとしての俺の意地だ。きっと最後のドライブになるだろう。
解雇通告を突き付け、上司は言うのだ———貴様のせいで大損だ、と。

クソでも喰らいやがれ。

2

金田総合病院は現地から五キロの距離にある。火曜日の昼下がり。一般道を走れば、数分で着く筈。
着いたらエンジンを掛けたまま救急車両の搬送口に停車すれば良い。

その場で状況説明をしてクロスマッチを受け取り、トンボ返りで事故現場へ舞い戻る。

問題は信号だ。この界隈は信号機が多い。裏道を使うべきだろう。

ウインカーを出し、ハンドルを切った。中央自動車道の裏道に行く。気付かぬ内に速度が上がっていた。
エンジンが野生の狼のような唸りを上げ、地鳴りにも似た排気音が爆音で轟く。

金田総合病院へ向け、俺は本気の走りを見せていた。走る事を商売とする男の本気の走りを。

走りながらデジタル式の腕時計を見た。現地を離れてから三分三十秒経過。小学生は心肺停止の重体。

このままでは間に合わないだろう。どうすれば良いか考える。時だけが無情に過ぎて行く……。

標識を見た時、小学生の苦悶の表情が頭を過った。眼球を見開いた血塗れの顔。内臓が飛び出た未成熟の上半身。

ディスパッチャーの俺に何が出来ると言うのか……。

偶然にも俺の血液はA型プラス。クロスマッチ。

自己否定するように首を振った。今時、犠牲の精神など流行らないからだ。

最近の流行は自己満足と相場が決まっている。それを満たす為、人は生きる。あくせく働き、儚い夢を抱く。

二十七年の人生を振り返った。俺の腕なら月六十は固い。悠々自適な老後の生活は最高だ。しかし……。

アクセルを握る手に力が宿る。俺の中で何か弾ける。獰猛な野獣が叫んでいる。

走る為に俺は生まれたのだ。全速力で走る為、チンタラ走る為じゃあない。

道路の真ん中でUターンをブチ決めた。俺の意志は固い。ダイヤモンドよりオリハルコンより固い。

見る見る内に速度が上がった。見る見る内に問答無用、見る見る内に唯我独尊。

「どけ、どけえ！」

声に出して叫んだ。信号無視して突っ走った。車体を傾け、違反速度で反対車線に飛び込んで行く。

あの世が在るなら再び俺はライダーになるだろう。なるさ、なるに決まってる。スリルを求め、全速力で走るのだ。

その時、俺は———

風となる。(了)

キリミハデヤ

hadeyakirimi@gmail.com

81-080-9832-0574

モリカワ ケンタロウ 口座番号

三井住友銀行(店番号232) 普通口座 口座番号:7342872